



Pachinko Chain Store Association

## PCSA 声明

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会（PCSA）は、高射幸性の遊技機の占める割合が飛躍的かつ継続的に高まっている現状を憂慮し、下記のとおり要請いたします。

### 記

PCSAは、パチンコを名実ともに国民大衆娯楽としていくために、遊べる遊技機の普及や低貸玉営業の推進をはじめとする諸々の施策を積極的に推進してきました。

ところで、業界誌等でも大きく報道されているとおり、ここ数か月、パチンコホールに新たに設置された遊技機の台数において、いわゆるマックススペックタイプと呼ばれる高射幸性の遊技機の占める割合が飛躍的かつ継続的に高くなっております。

もちろん、パチンコホールに来店されるお客様のニーズは多種多様であり、高射幸性の遊技機での遊技を望まれる方々も多数いらっしゃいます。

しかし、数年前に顕著となったスロット遊技機の高射幸性化とその後の遊技業界の現状をみましても、高射幸性の遊技機を中心とした営業の展開は、一時的な意味での利益の確保に貢献するところはあるとしても、中長期的な観点からは、娯楽としてのパチンコを強く望んでいる国民大衆の大多数の支持を得られず、急激な客離れ現象を生じさせることは必至であります。

このようなことから、PCSAは、高射幸性の遊技機の占める割合が飛躍的かつ継続的に高くなっている今日の遊技業界の現状を極めて憂慮しており、これらの現状を直ちに転換していく必要があると考えています。

つきましては、パチンコホール企業におかれては、マックススペックタイプ遊技機の設置台数を極力抑えていただきたくお願い申し上げるものであります。さらに、パチンコ遊技機製造会社およびパチンコ遊技機販売会社におかれても、高射幸性の遊技機の開発または販売を自主的に抑制されるとともに、遊べる遊技機をはじめとする低射幸性の遊技機の開発または販売を大幅に促進されるよう、切に望むものであります。

終わりにになりましたが、昨今の経済環境の中において、遊技業界の目指すべき道は、当面の利益の確保を優先させるのではなく、国民大衆の大多数が望んでいる、時間消費型娯楽へのパチンコの一大転換を着実に図っていくことにこそあると考えています。ともに、手を携えて遊技業界の発展に邁進していきましょう。

以上

平成21年1月19日

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会  
代表理事 佐藤 公平